反対 根拠はなし！ 議員定数条例改正案 賛成 市長の公約だ！

本会議 賛否討論

◆賛成討論◆

（中林堅造）
直近の市長選挙において、市長は政治生命をかけ、議員定数半減・単独市制を強く訴えて戦われました。市民の願いはどこにあったのか思い出していただきたいと思います。

市長出席の特別委員会においても、この時間が過ぎればという反対する議員の考えがひしひしと伝わってきました。非常に情けなく残念に思います。

（藤本和久）
賛成理由は三点あります。

まず、歳出削減により、財政の健全化に寄与できます。

定数13人の理由は明確ではないと思いますが、27人必要だという論理的根拠もありません。

確固たる財源の確保とあわせて、市民に対する答えは賛成以外にはありません。

歳出削減で財政に！

危機的な財政状況下、国会議員数が多いという議論がなされています。地方でも同じことが言えます。選挙公約に市議会議員定数を掲げることの是非は別として、民意が示されたという事実は重く受け止める必要があると判断します。

（田中敏靖）
市長選挙を住民投票におきかえれば、有効投票総数50％以上の得票は民意を得たことといえます。議員定数半減を訴えた選挙の勝利は明確な民意です。

選挙結果は市民が大幅な議員削減を求めていると議会は認識すべきです。議員が減ることで、市民の声が反映できなくなるとの声もありますが、激戦に耐えうる有能な少数精鋭の集団として市民の声も反映できます。

（斉藤　旭）
一般質問で発言したとおり20名が適当だと考えます。半減は困りますが、市民が求める大幅削減は必要です。

10年先、20年先のことは、その時の為政者に任せ、いま市長がやるべきは福祉施策を他市並みに実行することです。

「選挙では、市議半減と単独市政を主張したのであって、マニフェスト実行について声高に主張していない。増やすなら倍、減らすなら半分でないとインパクトがない」と発言されました。市長は、地方自治における二元代表制の意義を全く理解していません。

（久保玄爾）
将来、地方分権改革、地域主権の時代が訪れます。その時には、議会の役割は非常に重要になってきます。

市民から議員定数が多いのではないかという意見もありますが、議員定数は、議会改革推進協議会の中で、各議員の意見を調整して決めるべきです。

（山下和明）
議会の意思を無視した乱暴な手法です。

議員を半減することは、議会の重要な役割である監視機能を低下させ、議会の後退につながります。議員は市民の代表であり、民意を届ける重要な役目があります。半減することで市民の声は届きにくくなります。

しかし、定数削減すべきという市民の声が多くあることも理解しています。議会改革推進協議会において、慎重な議論を重ね、次回の選挙までには定数削減を決定すべきと考えます。

◆反対討論◆

（木村一彦）
市長も議会も、ともに市民の直接選挙で選ばれ、ともに民意を代表する対等な政治機関です。今回、市長が議会の定数に関する議案を提出したことは重大な越権行為であり、二元代表制の乱暴な蹂躙です。

市長は「増やすなら倍増、減らすなら半減でないとインパクトがない」という趣旨の発言をしており、定数13は、何らの客観的根拠もない思いつきのものです。

監視機能の低下に！

議員報酬の削減によって市財政が大きく安定するかのように言うのはまったくの幻想です。議員報酬は市予算全体のわずかに0.3パーセントに過ぎず、これを半減したからといって、その影響は微々たるものです。チェック機能を弱めることによる市民の損失の方がはるかに大きいと考えます。

（伊藤　央）
憲法に定められているとおり、地方自治は二元代表制です。

予算編成、人事、執行権など、強大な権限を有する市長・行政機関の暴走を制御するという役割が議会には求められています。市長が二元代表制の一方の機関である議会の定数に触れることは、健全な地方自治の姿ではありません。

適正な議員定数は、議会自ら調査研究、合意形成に努めるべきだと考えます。

（田中健次）
市自治基本条例で、議会は行政を監視すると定めていますが、監視される市長が、監視する役割の議員の半減を提案すること自体が問題です。煙たい相手が減れば、執行機関の独走と議会の空洞化を招きます。

議会は合議制の機関として、多様な意見の集約を求められますが、議員半減となれば、市議空白地域が増え、住民の声が届きにくくなります。

新体育館開館にあわせて使用料減免をやめる条例改正に、議会は反対し、減免制度が維持されました。執行機関となれ合う議会では、市民の生活は守れません。

財政資料では、平成20年度で連結で33億円も市の純資産が増え、財源確保のために市議半減は必要ありません。

（土井　章）
市長選挙の絶対得票率は、二元代表制を否定しかねない議員半減に対して、民意があったとは考えていません。

えっ！勘違いしてた！？

問 議員定数の削減は、財政が厳しいからじゃないの？

答 よくこのような質問をお受けしますが、定数条例改正案の審査で市から提出された資料を紹介します。

条例改正の提案は、『**市の財政がひっ迫しているから議員の削減を求めているわけではなく、市が行財政改革を進めてきた中で、議会にも議員定数を削減することで協力いただくことをお願いするものです。**』（『』内は原文）

財政上の問題じゃないんだ…

議員定数半減が実現すれば福祉や教育など、8項目の公約はすべて達成できるの？

市長の答弁

具体的なものは詰めていない。効果額で、8項目すべてができるとは思っていない。

選挙実施年	地方自治法議員数	防府市条例定数
地方自治法（人口5万人以上～15万人未満）法定数36人		
昭和63年	36人	32人（4人削減）
平成12年	36人	30人（2人削減）
平成15年 改正地方自治法施行（人口10万人以上～20万人未満）上限数34人		
平成20年	34人	27人（3人削減）

これまでの議員定数の推移

防府市議会では平成20年の市議選挙における議員定数について、調査研究するため、平成17年に議会改革調査研究会を設置しました。

議会運営や各種委員会構成、チェック機能や市民の皆様の声の反映など、あらゆる角度から1年半にわたって協議を重ね、平成18年6月議会に議員提案（30人→27人）し、可決しました。議員定数に関する取り組みについては、すべて議員間で自主的に行ってきています。

また、選挙後の昨年1月に議会改革推進協議会を設置し、「議員定数」については調査研究を行っています。

議員定数の比較

	10-20万人市	人口	面積	議員数	人口/1議員	面積/1議員	月報酬額	年報酬額	
県内の類似市	山口市	187,648人	730.23㎢	34人	5,519人	21.48㎢	449,000円	7,058,000円	
	宇部市	173,401人	287.71㎢	32人	5,419人	8.99㎢	470,000円	7,392,000円	
	周南市	152,365人	656.32㎢	34人	4,481人	19.3㎢	445,000円	6,995,000円	
	岩国市	147,571人	873.78㎢	34人	4,340人	25.7㎢	440,000円	6,916,000円	
	防府市	118,371人	188.59㎢	27人	4,384人	6.98㎢	413,000円	6,492,000円	
全国議員数の少ない市	大東市	125,384人	18.27㎢	17人	7,376人	1.07㎢	590,000円	10,018,000円	松崎＋中関
	富田林市	120,547人	39.66㎢	20人	6,027人	1.98㎢	610,000円	10,321,000円	華城＋右田
	羽曳野市	118,780人	26.44㎢	20人	5,939人	1.32㎢	600,000円	9,996,000円	大道

面積で防府市と比較した場合